

2025

6月



ブックンだより

ぶぜんしりつとしょかん



6月の夏至ってなに??

◎夏至とは…



一年のうち昼の時間が最も長い日のこと。

「この日から本格的な夏が始まるよ！」

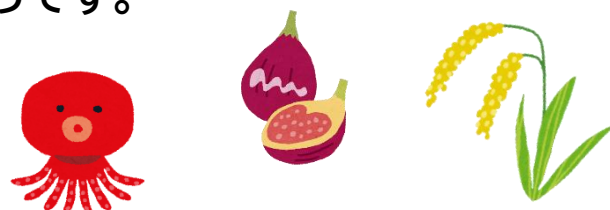
という日だそうです。



2025年の夏至は、6月21日です。

地域によりますが、「タコ」や「いちじく」など、夏至に食べると良いとされている食材があります。

それぞれに、田植えを重なるこの時期に、神様への感謝や豊作の祈り、健康への願いが込められているそうです。



6月のブックン(予定)

6月4日(水)18日(水)
横武小学校・合岩小学校
6月5日(木)、19日(木)
宇島小学校・三毛門小学校
6月6日(金)、20日(金)
千束小学校・八屋小学校
6月11日(水)、25日(水)
黒土小学校・角田小学校
6月12日(木)、26日(木)
大村小学校・山田小学校

6月の団体貸出(予定)

6月4日(水)
合岩小学校
6月5日(木)
千束小学校・山田小学校
6月11日(水)
八屋小学校
6月16日(月)
角田小学校
6月18日(水)
宇島小学校
6月19日(木)
三毛門小学校
6月20日(金)
大村小学校
6月23日(月)
黒土小学校
6月25日(水)
横武小学校

こんな本、あんな本

6月におすすめの本



『ぼたのよる』
谷本 雄治／作・サトウ マサノリ／絵
ホタルの一般的なイメージ「清流で夜、静かにまたたいている」とは、裏腹に、実は、ホタルの大部分は陸にすんでいる！
そんな豆知識も入れながら、食べたり食べられたりの波乱万丈なホタルの一生をダイナミックに描いた絵本です。



『雨がしくしく、ふった日は』
森 絵都／作・たかお ゆうこ／絵

つゆの日々、雨がふるたびに「しとしと」が「しくしく」に聞こえ、だれかがどこかで泣いている気がしてじっとしていられないくまのマーくん。雨の中をさんぽし、泣いているあじさいやかたつむり、人間の女の子をはげましてまわります。そのはげましかたがどこか抜けていて、いつもへんてこな結末に…。



『雨ふる本屋』
日向 理恵子／作・吉田 尚令／絵

おつかいの帰り、ルウ子は、カタツムリにさそわれて「雨ふる本屋」へ。出迎えてくれたのは、摩訶不思議な本と、ドードー鳥の店主と助手の舞々子、そして妖精たち。ドードー鳥の店主が、ここにある本は、人間に忘れられた物語に、雨をかけてできあがるという……。 「物語」への、愛と信頼をこめたファンタジー。